

論文要旨

長野県辰野町におけるゲンジボタルの発光パターン

井口 豊

〒394-0005 長野県岡谷市山下町 1-10-6 生物科学研究所

e-mail: bio.iguchi@gmail.com

Flash patterns of the firefly *Luciola cruciata* in Tatsuno-machi, Nagano Prefecture

Yutaka Iguchi

問題の背景

長野県辰野町では、松尾峡に短周期型(2秒型, 西日本型)ゲンジボタルが生息することが分かっている。本研究では、辰野町において、松尾峡以外で初めてゲンジボタル明滅周期を観察報告する。

方法

場所は、辰野町、[川島・渡戸](#)。観察日時は、1999年7月17日21:30-22:00。天候は、気温21°C、天気曇り、微風。ゲンジボタル明滅周期の計測法は、ストップウォッチで1/100秒精度、1周期を光り初めから次の光り始めまでとし、20回計測。

結果と考察

渡戸のゲンジボタル明滅周期は、 3.11 ± 0.10 秒(平均 \pm 標準偏差)であった。つまり、渡戸のゲンジボタルは中間型であり、短周期型である松尾峡とはタイプが異なることが分かった。

この論文発表後に、日和ら(2007)によるDNAの研究で、渡戸のゲンジボタルは、辰野町鴻ノ田と同じタイプの中間型である在来ゲンジボタルであると推定され、Iguchi(2009)によって、明滅周期とDNAの研究結果がまとめられた。

参考文献

- 日和佳政・水野剛志・草桶秀夫(2007) 人工移入によるゲンジボタルの地域個体群における遺伝的構造への影響. 全国ホタル研究会誌 40: 25-27.
- Iguchi, Y. (2009) The ecological impact of an introduced population on a native population in the firefly *Luciola cruciata* (Coleoptera: Lampyridae). Biodiversity and Conservation 18: 2119-2126.